

第112号議案

指定管理者の指定について

施設の名称 福井県立馬術競技場

指定管理者候補者選定結果 …………… 1頁

指定管理者指定申請書

学校法人金井学園 …………… 3頁

交流文化部



「福井県立馬術競技場」の指定管理者候補者の選定について

福井県立馬術競技場の指定管理者の申請の募集について、福井県立体育施設指定管理者選定委員会の審査結果を踏まえ、指定管理者候補者を次のとおり選定いたしました。

- 1 団体名 学校法人金井学園
- 2 所在地 福井市学園3丁目6番1号
- 3 指定期間 令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間

4 選定理由

当該団体は、福井県立体育施設指定管理者選定委員会の審査において、福井県立体育施設の設置および管理に関する条例で定める指定の基準に適合しているものと評価されました。

特に、ナイター営業の実施や保育園、障がい者等を対象とした乗馬体験教室の開催など地域に貢献する取組みなどの提案内容が優れており、福井県立馬術競技場の設置目的を効率的に達成することができ、指定管理者にふさわしいと認められることから、当該団体を指定管理者候補者に選定します。

5 申請団体数

1 団体

- ① 福井市学園3丁目6番1号 学校法人金井学園 理事長 金井 兼

6 選定委員会での審査結果

① 選定委員会委員

水沢 利栄	福井大学教育学部 教授
山根 裕	北陸税理士会坂井支部 副支部長
加藤 昌美	福井県レクリエーション協会 理事
田中 和弘	福井県交流文化部スポーツ課長

② 審査結果

審査基準	配点	申請団体名
		学校法人金井学園
1 県民の平等な利用が確保されていること	適/不適	適
2 馬術競技場の効用を最大限に発揮するものであること ・設置目的と事業内容との適合性 ・利用者のサービス向上のための取組み内容 ・利用者増、利用促進のための取組み内容 ・利用料金の設定水準、料金に関する提案内容 ・利用者の意見の反映、業務改善への取組み内容 ・その他、新たな企画提案の有無、内容 ・提案した計画の内容の妥当性、実現可能性、持続性	160	141
3 管理の経費の縮減 ・管理運営に係る県の支出経費 ・提案した提示額の妥当性、実現可能性、持続性	120	120
※ 各団体の申請額（5年間）	上限額 23,320千円	23,319千円
4 馬術競技場の管理を安定して行う能力を有するものであること ・人的能力（管理運営組織、人員配置等）の内容 ・物的能力（収支計画、資金調達、トラブルや危機管理対応、保険対応等）の内容 ・申請者の実績（同種の施設の管理運営実績） ・申請者の安定性、信頼性（財務状況、資産、提携団体） ・業務全般に対する取組み姿勢 ・提案した内容の妥当性、実現可能性、持続性	120	112
総合得点（満点400）	400	373

※ 点数は4名の選定委員の採点の合計点です。

③ 講評

- 審査基準1については、適と評価された。
- 審査基準2については、ナイトー営業の実施や保育園、障がい者等を対象とした乗馬体験教室の開催など地域に貢献する取組みなどの提案が評価された。
- 審査基準3については、提案された管理経費は妥当であると評価された。
- 審査基準4については、馬術競技場の現在の指定管理者として安定的に運営を行っており、馬術競技の技術指導に必要な指導員を配置できるなど施設運営のノウハウを十分有しているとして評価された。
- 以上の総合的な評価により、学校法人金井学園は、指定管理者の指定の基準を満たしているものと評価された。

- 7 今後、県議会に指定管理者指定の議案を提案します。
県議会の議決を得た後、正式に指定管理者に指定されます。

令和2年10月6日

福井県知事 様

申請者 主たる事務所の所在地
名称および代表者の氏名

福井市学園3丁目6番
学校法人金井学園
理事長 金井 兼

指定管理者指定申請書

福井県立馬術競技場の管理に関する業務を行いたいので、福井県立体育施設の設置および管理に関する条例第6条第2項の規定により、下記の書類を添えて、申請します。

記

- 1 馬術競技場の管理の業務に関する事業計画書
- 2 定款もしくは寄附行為および登記事項証明書またはこれらに準ずる書類
- 3 申請の日の属する事業年度の前事業年度における財産目録、貸借対照表、損益計算書その他財務の状況を明らかにする書類（申請の日の属する事業年度の前事業年度に設立された法人その他の団体にあつては、その設立時における財産目録）
- 4 申請の日の属する事業年度における事業計画書および収支予算書
- 5 役員の氏名、住所および略歴を記載した書類
- 6 馬術競技場の管理の業務を行う組織および運営に関する事項を記載した書類
- 7 現に行っている業務の概要を記載した書類
- 8 馬術競技に関する相当の知識および技能を有することを説明する書類
- 9 国税および地方税について、未納の徴収金がない旨の証明書

別紙様式 2

福井県立馬術競技場の管理の業務に関する事業計画書

1 団体の概要

団体の種別	財団法人 社団法人 株式会社 有限会社 NPO 法人 ■ その他 (学校法人)			
団体名	学校法人金井学園			
所在地	福井県福井市学園 3 丁目 6 番 1 号			
代表者名	理事長 金井 兼			
電話番号	0776-22-8111			
FAX 番号	0776-29-7812			
メールアドレス				
設立年月日	昭和 34 年 2 月			
資本金 (基本財産)	41,295,163,034 円 (令和 2 年 3 月 31 日現在)			
従業員数	令和 2 年 5 月 1 日現在 ■■■ 人			
主な事業内容 (必要に応じ別紙)	私立学校の運営 (大学、高等学校、中学校)			
同種の施設の管理運営業務の実績 (必要に応じ別紙)	名称	所在地	業務内容	運営期間
提携団体名	(複数の団体により構成されたグループにより申請する場合に記入すること)			

※「団体の種別」は、該当するものを○で囲んでください。

※「同種の施設の管理運営業務の実績」には、馬術競技場の類似施設の管理運営実績を記入してください。

2 管理運営基本方針

福井県立馬術競技場を指定管理者として管理運営業務を担うにあたり、下記の基本方針を策定し、それに従った公正・平等かつ公共施設としての公益性を損なわないように厳正な管理運営を行うものとする。

- 1 「福井県立体育施設の設置および管理に関する条例」、「福井県立馬術競技場に関する規則」、「福井県個人情報保護条例」、「福井県外部監査契約に基づく監査に関する条例」、「福井県財務規則」、「福井県指定管理者制度基本条例」等々関係法規の内容を十分に理解し、その法令の規定に基づいた運営を行う。
- 2 県民の体力向上および生涯スポーツの一環としての目的からレクリエーションの振興等も図り、県民の誰からも愛される乗馬施設（福井ホースパーク）としての役割を持たせる。
- 3 福井県の競技スポーツ（馬術競技）の中心地（拠点・核）としての役割をもたせることも必要不可欠と思われる。2年前の福井国体では総合優勝を果たした優秀な選手を育成し、優勝に大きく貢献した。これからも数多くの優秀な国体選手を育成すると共に、競技馬の調教、維持管理に努め、さらに将来的にも数多くの国体選手を輩出すべく、小学生の段階から「乗馬スポーツ少年団」を結成し、馬術に関する技術指導および助言、さらには「心の教育」にも配慮した活動を行う。
- 4 福井県における馬術競技の振興の拠点としての活性化に努め、かつ公共施設の公正な管理運営を行う中で、利用者のニーズ把握とサービス向上に努めながら利用者の増加と管理運営経費の削減を図っていく。

特に上記の4点を大きな柱として捉え、積極的に自らが情報を公開（ディスクロージャー）し、コンプライアンスにも努め、地域や関係団体の方々の意見、ニーズ等も踏まえてより効率的な管理運営が図れるよう開かれた施設として運営する。

そして当然ながら、社会的公正や高い倫理観、また環境などに配慮し、地域社会や県民などに対して責任ある行動を取るべく業務を推し進めていくことを基本方針とする。

3 管理運營業務計画

(1) 利用者へのサービス向上についての取り組み

馬術競技の楽しさ、面白さそして練習すればするほどレベルアップする嬉しさを知ってもらうために利用者に質の高いサービスの提供をおこなう。そして、親しみやすい「ヒューマンサービス」(人の優しいサービス)の実践と馬術競技の魅力を最大限にPRし、新たな利用者の開拓やリピーターのぞうかに直結させたい。さらに馬術競技場の正確な情報の積極的な発信、公正で安定したサービスを提供するためにも「サービスチェックリスト」の活用や利用者アンケートによる、より品質の高いサービス向上を目指す。

具体的には、下記のような事項の取り組みを行う。

○良質のサービス維持向上のための取り組み

- ・ソフト面…事務スキルの維持向上に努める。

接客スキルの維持向上に努め、従業員の士気の維持向上に努力する。

- ・ハード面…施設を良好な状態に維持し、環境に配慮した管理運営と利用者および業務関係者にもエネルギー削減の情報を提供し「環境教育」につとめる。

○サービスメニューの充実のために

- ・定期的アンケート調査……利用者のニーズ、要望の把握に努める。
- ・従業員の知識を集積して、現場の声を管理運営に役立てる。

(2) 施設の利用促進についての取り組み

馬術競技場の利用促進を進めるには、広く県民に対し本施設の認知度を高める方策と利用者が将来に亘って利用したいという意識と意欲を喚起させる方策が大切であると考えている。そこで今までも地道に会員やビジターの方からアンケート等で顧客の満足度・不満足度を把握するべく調査や他施設との比較等継続的な追跡調査を行い、何を改善すべきかを分析検討を重ねてきた。その結果として、本質サービス(乗馬に関する技術力・指導力そして安心感等)と表層サービス(常駐スタッフの接遇態度と施設・環境の安全性と雰囲気の高さ等)の充実と改善に取り組み、常により高い乗馬施設を目指し、利用者の増加に繋がるように努める。具体的には通年で、下記のような取り組みを行う。

- ・ホームページを作成し、広く県民に馬術の理解を得、普及を図ると共に最新情報の発信に努め、また利用の予約や意見要望、問い合わせ等に対応する。
以下の公式ホームページから、スタッフ独自のホームページと、近況を知らせるブログを開設し、親しみやすくアットホームなクラブ運営を強調する。

<http://www.fhpark.jp/>、<http://ameblo.jp/fhpark/>、<http://fukuihorseparkweb.fc2.com/>)

・保育園児や小学校の児童を対象にイベントを行い、幼少時からの馬とのふれあいにより動物をいたわる「心の教育」と愛護精神の醸成に努める。

・障害者を対象の乗馬教室を行い、馬と接することで温かみを感じてもらい、思いやりの心や、最近注目を浴びてきたホースセラピー効果で、機能の回復、言語力の向上の一助になるよう積極的に受け入れる。

・勤労者の施設利用向上のため、夏期期間にナイター乗馬の時間帯を設けて利用者の利便性を図り、利用者増を試みたが、予想より利用者は少なく、もっと積極的なPRを行っていく。

・利用大会並びに利用者数の見込みについて

- 越前馬術大会（4月・約200名）
- 春季高等学校総合体育大会馬術競技会（6月・約15名）
- 福井市民体育大会 馬術競技会（7月・約15名）
- 高等学校新人馬術競技会（10月15名）
- 愛馬の日馬術競技会（10月・20名）
- 県民スポーツ祭馬術競技会（11月・15名）

・利用者数の目標値

令和元年度は年間7,656人の利用者であったが、下記のように増大を目指す。

- 令和3年度 7,670人
- 令和4年度 7,700人
- 令和5年度 7,720人
- 令和6年度 7,730人
- 令和7年度 7,750人

・出張乗馬体験の増加

幼児対象イベントとして保育園、幼稚園、児童館に乘馬体験をさせる。

馬を連れて施設に出向き体験乗馬を行うと共に触れ合う機会を設けることにより、情操教育に役立てる出張乗馬の増加を目指す。

(3) 施設の維持管理についての取り組み

「馬術競技場」の管理運営業務仕様書の基本的な事項を踏まえ、施設及び設備、備品の機能と環境を良好に維持し、サービス提供が常に円滑に行われるよう施

設及び設備、備品等の日常点検、保守および法定の環境測定等の保守管理業務を実施する。

- ・浄化槽保守点検・浄化槽法廷点検
- ・火災報知機保守点検
- ・馬の予防接種の実施
- ・開苑時・閉苑時等の日常点検、毎月の定期点検、特別点検（年2回）等の実施。
- ・施設、設備機器の保守管理及び操作・監視等。
- ・貸出等は「貸出備品管理簿」による管理。
- ・清掃業務は日常清掃、定期清掃（毎月）、特別清掃（年2回程度）を実施。
- ・動物取扱責任者を選定し、年一回の講習会を受講し動物取扱の業を行う。
- ・保安警備業務のため、管理人等による24時間警備や防火管理者の配置。

(4) 利用料金収入の確保、経費削減についての取り組み

馬術競技場という一般的には特殊な施設でもあり、乗馬人口もそれほど多くはない競技の性格から利用料金収入の確保は大きな課題である。

そこで、施設の利用促進と快適な施設環境の整備、そして利用者へのサービス向上に努め、新規の顧客確保と利用回転率の向上を目指し、預託馬の増加に努力をする。

管理運営コスト（光熱水費・委託料・修繕費）の削減のため、光熱水費については利用者にも節約をお願いし徹底的に無駄を無くす努力する。

修繕費については老朽化が進み多くなってきているが、点検管理を強化し事前に対応し、全て業者にたよる事無くスタッフが対応するよう努める。

(5) 利用者の要望等の把握および対応についての取り組み

- ・スタッフが常に利用者から「生の声」を聞き取るように心がけ、利用者のニーズの把握に努める。又、年2回会員との親睦と本音を語る目的で春はパーベキュー大会、冬は忘年会を実施する。
- ・利用者アンケート箱を設置して、常に利用者の要望・意見を把握できるように努める。
- ・ホームページやブログを開設し、本施設の情報を積極的に発信する。
- ・イベントや事業の参加者へのアンケート（満足度調査）調査を行い、改善出来る事は速やかに対応できるようにする。

(6) 目標管理による業務の効果測定についての取り組み

経営状況は決して良好ではなく、経営目標を明確にし、対応を企画実践するため「経営管理委員会」を2回開催し、事業計画と結果の本質的な問題点を見つけ出し経営体質強化を図る。

さらに、乗馬指導者としての専門技術者教育を計画的に実施して、優秀な乗馬指導者を育成に努める。その過程で外部講師（国際的有名指導者）による講習会に参加させスタッフの乗馬技術の向上や指導技術の研鑽に努める。また、有識者（県スポーツ協会並びに県馬連、市馬術協会等）の意見も聞きながら管理運営にあたる。

経営状況は決して良好ではなく、経営目標を明確にし、対応を企画実践するため「運営管理委員会」を2回開催し、事業計画と結果の本質的な問題点を見つけ出し経営体質強化を図る。

さらに、乗馬指導者としての専門技術者教育を計画的に実施して、優秀な乗馬指導者を育成に努める。その過程で外部講師（国際的有名指導者）による講習会に参加させスタッフの乗馬技術の向上や指導技術の研鑽に努める。また、有識者（県スポーツ協会並びに県馬連、市馬術協会等）の意見も聞きながら管理運営にあたる。

(7) その他

ア 馬術競技場の指定管理を希望する理由

これまで3期にわたり指定管理者として指定を受け、県民の皆様に乗馬の楽しさや癒しの効果を理解していただき、乗馬人口も徐々に増加してきており老若男女を問わず利用されている。乗馬は全身運動であるため健康維持や、痩身効果、障害者のリハビリ効果や機能回復として、また幼少には情操教育の一助としても利用されており、今後もこの様なニーズは拡大されるものと思われ、これらに対する更なる貢献を致したいと考えている。

さらに、福井国体で得たレガシーを生かしながら競技力の向上を目指して、本県馬術競技の拠点（核）としての役割を担い、更なる競技力向上とジュニア養成の2本柱の中心地としていきたいそして、本学園の福井工業大学並びに福井工業大学附属福井高等学校、福井工業大学附属福井中学校の活躍は顕著な成績を挙げてきており、今後もなお一層の競技力向上を目指して努力し、本学職員としても競技者を雇用しており、万全の態勢で臨む所存であり今後県民の皆様方のご期待とご声援に応えられるよう全力を傾注していく覚悟である。

上記のように「生涯スポーツの拠点」と「競技力向上と人材育成の拠点」「競技馬の育成」という役割と、県民に愛される公共施設としてこれまで培ってき

たノウハウを最大限に発揮して福井県の乗馬人口の増大と競技力の向上のため貢献したいという思いから指定管理者に希望するしだいである。

イ 外部委託の方針

馬という生き物を扱う特殊性から専門的な資格や技能を持った専門家に業務を委託しなければならない業務がある。業者の選定については学園管材課にて適正な入札により最も適切な業者の選定を行い実施する。

外部委託業務と業者

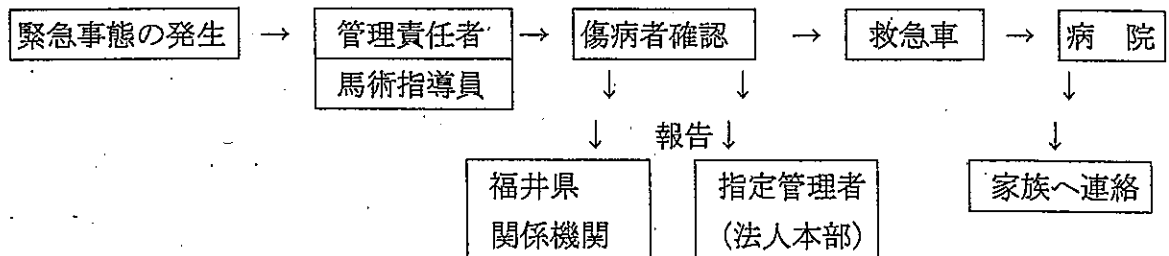
- | | | |
|---------------------|-------------|------------------------|
| ①浄化槽保守点検 | 福井県環境保全協業組合 | 福井市角折 8-3 |
| ・浄化槽保守点検 | | 年2回(消毒薬補充等) |
| ・浄化槽法定点検 | | 年1回(外観点検、水質点検、書類検査) |
| ・浄化槽汚泥抜き取り清掃 | | 適宜 |
| ②火災報知設備保守点検 | 北陸通信工業株式会社 | 福井市問屋 2-4-3 |
| ・年2回(機器点検1回、総合点検1回) | | |
| ③装蹄 | 吉田装蹄所 | 岐阜市塩町 2-48-9 |
| ・適宜 | | |
| ④予防接種 | 土屋競走馬診療所 | 石川県河北郡内灘町
千鳥台 1-100 |
| ・インフルエンザ、日本脳炎 | | 年2回 |
| ・破傷風 | | 適宜 |

ウ 緊急時の対応

① 火災や自然災害時等緊急時の体制

「緊急時の責任体制と組織」の明確化と地方公共団体や警察・消防など、関係機関への連絡・報告・連携体制を確立し、緊急時対応の訓練を定期的実施する。

② 施設利用者、参観者等の病気・怪我等の緊急時の体制



- ・乗馬利用者には、傷害保険の加入を義務づける。
- ・AED 導入

エ 個人情報の取り扱いについての考え方

個人情報の保護の取り扱いについては、個人情報のセキュリティを強化し、個人情報保護に対する組織的な管理運営体制を整備する。さらに、定期的な職員に対する教育的訓練も実施し、「福井県個人情報保護条例」の規定並びに「福井県個人情報保護条例施行規則」に基づき適切な個人情報の保護、開示に対し取り扱いを行うよう全職員に徹底を図る。

- ・個人情報保護規程に基づき学園が保有する個人情報の取り扱いに関し、その収集、保管、利用について必要事項を定め、施設の責務・目的を明確にすると共に個人情報の適切な保護管理を行う。
- ・情報管理体制については、金井学園個人情報保護規程を適用する。

オ 地域および関係機関との連携

福井県スポーツ協会、高体連、県馬術連盟、大学等の関係機関等との連携は、公的施設の役割として緊密な関係を維持しながら、各団体主催の大会等に対し運営全般にわたり最大限の協力と支援を行う。また、本県馬術界の技術力向上並びに発展のため、関係団体の要望等も聞き国民体育大会等の全国大会において、福井県代表として活躍できる環境整備に努力する。

一方、本競技場は公園施設としての側面も持っており、地域の住民に広く開放し、「憩いの場」として大いに活用して頂き、各種大会やイベント（遠足・見学等）に関してはホームページ等に記載し、利用促進と広報に努める。

カ 自主事業その他の提案

福井県立馬術競技場の指定管理者として乗馬倶楽部（福井ホースパーク）の運営管理を行う中で下記の様に自主事業を実施する。

① 個人所有馬の委託管理

現在2頭であるが4頭を目指す。

② ナイター乗馬の実施……実施期間7月中旬から8月下旬：時間帯 午後5時30分～8時

目的=夏の季節暑さを避け、涼しい時間帯にゆっくりと乗馬を楽しむ。また、児童・生徒・学生は夏季休業に入り、一般人は仕事帰りに利用できるよう配慮する。

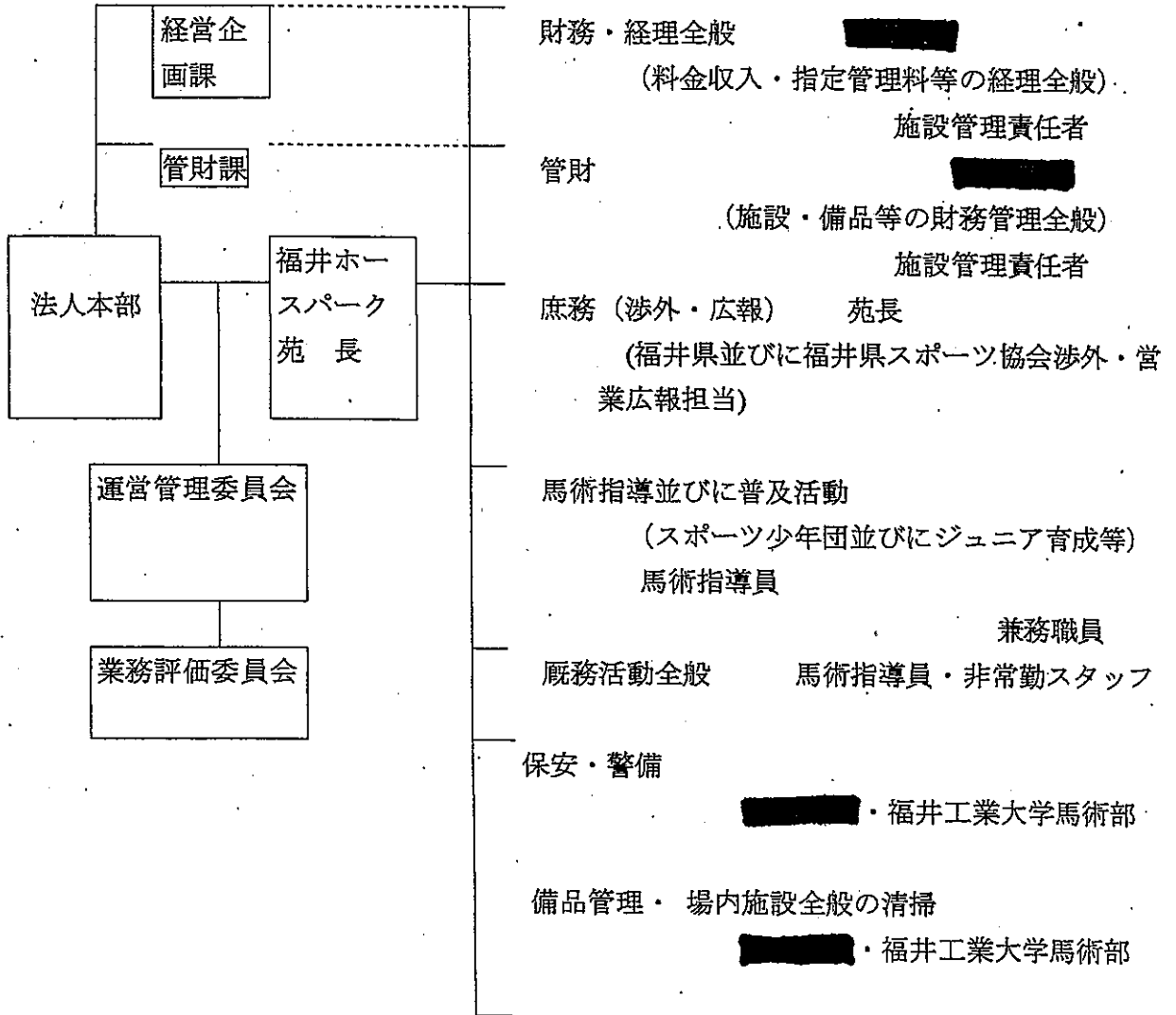
③ 無料開放日の設定……実施日 10月第1週の日曜日（愛馬の日）

広く県民に馬術競技場の役割を理解してもらうため、施設を開放し、乗馬に親しんでもらい、本施設の認知度を高め理解を深めてもらうために実施する。

- ④ 障害者に対する乗馬体験教室……現在は、障害者に対しても乗馬は「癒し効果」があることが理解されはじめている。そのような環境の中で、適切な時期を設定し、障害者の方にも気楽に利用してもらうために行い定着化して好評を得ている。
- ⑤ 乗馬見学会……地域の住民や保育園・幼稚園・小学校・中学校に対し体験乗馬や遠足等の学校行事に活用してもらうよう、広報活動を行い実施する。
- ⑥ 乗馬スポーツ少年団……小学生・中学生を中心とした「乗馬スポーツ少年団」を結成し、乗馬人口の底辺拡大と生涯スポーツとしての乗馬の楽しみ方を理解させ、引いては福井国体の選手育成に努める。
- ⑦ 国体選手育成コースの設定……本県馬術界の強化策として、国体の有望選手発掘と早期指導により競技力を向上させ、全国に互する技術力を身につけさせるために、騎乗料等を免除するなど特別措置をとり強化を図る。
- ⑧ ホースパーク内だけでなく、幼稚園等に出張し乗馬体験教室を行う。出張乗馬を現在4園であるが6園を目指す。

4 組織および運営体制

(1) 管理の業務を行う組織



馬術指導員 [REDACTED]	・インストラクター ・渉外・広報活動	・日本馬術連盟認定 準コーチ・3級審判員 ・B級騎乗者認定資格 ・全国乗馬倶楽部振興協 会認定指導者資格					○	(現職) 福井工業大 学就職支援 課
保安・警備 非常勤スタッフ	・保安警備業務 (含宿直業務) ・清掃業務(定期・特別)	福井工業大学 馬術部員					○	

※ 施設管理者・馬術指導員の3名を常駐させ、苑内の施設・備品等の管理業務を行い馬術指導並びに顧客対応に遺漏なきように万全を期する。また、24時間体制の保安、警備を行うために福井工業大学馬術部の協力を得て、最低2名の宿直管理業務を実施し、さらに、苑長以下2名の兼務職員スタッフによる休祝日等での支援によってより安全性と信頼性を担保すると共に正規職員の労働条件緩和に努める。
但し、休日設定に関しては、原則下記のように設定するが大会やイベント等の関係上変更する場合がある。また、労働基準法等に準じ過重労働にならないように対応する。

② 「開苑時間等」

区 分	開苑時間・休苑日
開苑時間	午前8時30分～午後5時15分まで 午前8時30分～午後8時まで（7月中旬～8月下旬）
休館日	月曜日 12月29日～1月3日まで
備 考	但し、大会やイベント・事業等を行うときは、休苑日・時間を変更する場合がある

(2) 職員研修および人材育成方針

利用者に安全で明るく、楽しく、気持ちよく施設を利用していただくには、常駐スタッフのマナー（言葉づかいや接遇態度等）向上は大変重要な要素だと考え、利用者が「また、来てみたい」と感じる対応ができるスタッフの育成を行うために、下記のような職員研修および人材育成を次のように行う。

・職員の多能化（マルチスタッフ）教育

業務をできるだけ分業化せず、窓口業務、日常の巡回警備、日常清掃さらにはイベント企画や施設利用者への乗馬指導等、いろいろな業務を多能的に担当で

きるように教育することで、低コストの施設管理ができ、さらにスタッフのモチベーションを高めるうえでも効果的であると考え実践する。

- ・マナー教育

相手の立場に立った「人との触れ合いや心遣いができる」職員のマナー教育の実践、構成団体（学校法人金井学園）からの教育講師の派遣（1回/年）

- ・技術教育（専門的教育）

職員の高い技術力（管理経営能力・乗馬技術等）の維持、向上のために年間を通して、日本馬術連盟公認の審判講習会や騎乗者資格認定の講習会、（社）全国乗馬倶楽部振興協会認定乗馬指導者資格の維持更新を行い、県外有名選手によるクリニックにも参加させ技能向上に努める。

- ・緊急時対応教育

災害や緊急時の対応に遺漏がないように全職員並びに非常勤スタッフにもAED講習会に参加し、普通緊急救命の知識も身につけさせ、対応に万全を期する。

5 令和3～7年度までの収支計画

収 入

(単位：千円)

項目	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	合 計	備考
事業収入	18,500	19,092	19,703	20,333	20,984	98,612	
雑収入	1,550	1,560	1,570	1,580	1,590	7,850	
その他の収入							
計 (A)	20,050	20,652	21,273	21,913	22,574	106,462	

支 出

(単位：千円)

項目	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	合 計	備考
人件費	14,864	15,236	15,617	16,007	16,407	78,131	
管理費	8,300	8,310	8,320	8,330	8,340	41,600	
維持費	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500	
事務費	510	510	510	510	510	2,550	
その他の支出							
計 (B)	25,174	25,556	25,947	26,347	26,757	129,781	

差引 (B) - (A)	5,124	4,904	4,674	4,434	4,183	23,319	
--------------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--

この金額が、福井県が指定管理者に支払う委託料（消費税および地方消費税額を含む）となります（募集要項で定められた上限額を超えないこと）。

※積算根拠を備考欄または別紙に記載してください。

※消費税および地方消費税を含めた金額を記載してください。消費税は10%で計算してください。